町議選への動きをみる

これまでの四年間の町政の在り方をふり返つてみて、それが町のため住民のためによかつたのかどうかのケジメをつけ、これからの町政はどういう政策をもつたどういう人を代表者としておくり出したらいいのかを決める四年に一度の町長、町議選はいよ〳〵きたる二十一日に告示がおこなわれ二十二日に立候補届出〆切の上、九日間にわたつて住民にとつてはもつとも身近な選挙戦がくりひろげられて三十日に審判がくだされることになるが、特に町議選ともなれば一票の差で当落が左右されるというキワドイ場面もあるだけに深刻な選挙戦でもある。あと数日ののちに候補者として姿を現わすであろう三町の顔ぶれもほぼ出揃つた形なのでこれを紹介してひと足お先に主権者の心構えの参考として下馬評をキャツチしてみた。

定數減で混戦？

立起者は二十三、四名か

―陸別町―

部落利己意識を解消し併せて卒先して町費の節減をはかるべきだということで、さきほどの新年度予算町議会で、議員提案によって定数二十二名を十八名に削減したために、ことしの町議選はいささか趣きの変ったものとなっているが、地区別に下馬評の顔ぶれを眺めてみよう。

市　街　大通りからは国安専次氏（現）竹内千代蔵氏（現）の二人は確定しているほか、創価学会をバックに鹿野武夫氏（新）が出馬する模様。東一条からは議長の荒川光董氏（現）と尾崎繁雄氏（現）の二人は決定しているが、尾崎亘氏（現）は未定で猪狩正雄氏（新）と替るかもしれない。共栄の山本正一氏（現）は引込んで林清一氏（新）が出馬する。栄は月居勇氏（現）と寺尾政一氏（現）の二人。緑町からは木谷新吉氏（新）が出る予定。

川　向　佐藤一郎氏（現）がふたたび出ることになつている。

小利別　佐々木茂雄氏（現）と中根勝治氏（現）のほか山田茂俊氏（新）と久田康四郎氏（新）が出馬の意志を表明しているが、地元票は二人が精一杯というところなので調整しようという空気にあるが乱立は免れないようだ。

斗　満　斗満の渡辺好弘氏（現）は病弱のため。東斗満の熊田良一氏（現）は老齢のためそれぞれ不出馬。上斗満の半谷好松氏（現）と下斗満の近藤菊五郎氏（現）はともに出馬するが、中斗満から川初清一氏（新）や紙中栄一氏（新）の声があがつている。

作　集　山村音吉氏（現）と西野一郎氏（新）の二人ということになつている。

トラリ　毛利米次郎氏（現）と佐藤大次郎氏（新）の二人となるかどちらか一人に絞ることになるかというところ。

川　上　林新八氏（現）が出る。

勲弥別　ここも角田敏夫氏（現）一人となつている。

このほかに地区労を背景に市街地区から松田四八氏（新）が出馬するかもしれず十八名の定員に対して二十三、四名の立起が予想されているが、前回と同様な数の立起者に対して定員が四名減なので乱立混戦の様相を呈しており、現議員十四名に対し新人九名の割ふりとなるようだ。

元議員が再登場

二十八名程度の出馬

―本別町―

前回に定員を十八名に削減したまゝでおこなわれるが立起予定者は二十八名程度とみられている。これを地区別に眺めてみると――

市　街　南町からは前田英雄氏（現）平賀昌二氏（現）佐々木弥寿吉氏（元）向山一松氏（元）大平筆義氏（新）増子信也氏（新）の五氏が出るものとみられ、作間勝雄氏（現）は立たないようだ。北町からは天野晴清氏（現）吉田松男氏（現）羽根田守氏（現）酒井高作氏（元）臼田義一氏（新）長谷川義信氏（新）の六氏ということになるようだ。

勇　足　若木勝二氏（現）鈴木八郎氏（現）熊本軍治氏（現）吉田定克氏（元）山下数一氏（新）の五氏のほか副議長の生塚利一郎氏（現）が引つ込み上原新一氏（新）が出ることになるようだ。

仙美里　柳沼直美氏（現）松下一桜氏（現）太田勘助氏（現）の三氏とみられている。

美里別　大和田清進氏（現）が退いて荒伸一氏（新）が出る。大久正義氏（元）高木章氏（新）仗見宏氏（新）の三氏のほか活込の北畑孫八氏（現）も立つ。このほかチエトイから青木久雄氏（新）と開協組合長の中川春市氏（元、月見台）が出る模様なので、現議員は十二名、元議員は六名、新人が十名という顔ぶれとなつているが、元議員のカムバックぶりが特徴的で新人候補と合せて立起者の約三分の二は現議員にあきたらない形で登場している格好にある。

半数は新人候補が登場

―足寄町―

定員は二十六名だが、前回同様三十二、三名の出馬が予想されており、前回のように大量得票者がいないのではないかとみられるだけにはげしい接戦が展開されることになるようだ。

市　街　東区からは前助役の土田今吉氏（新）と元本別町議の久保久八氏（新）のほか共産党の矢野寛一氏（現）が出る。西区からは小林弘道氏（現）だけ。南区からは、最終町議会で吊橋工事問題にからんで辞職を表明して退場した斉藤昇氏（現）がふたたび出ることになるようだが、前々回の道議戦で敗れた長谷部巍（氏元）が立つことになるかもしれない。このほか田中産隆氏の声もある。北区では高橋秀夫氏（新）が名乗りをあげているが元駅長の稲垣清一氏（新）の声もあり、吉川政雄氏（新）は周囲に推されて立起を決意した。中央区の嶺和衛氏（現）は家庭の都合で出馬しないが湯浅義雄氏（現）は出るし教育委員長の三宅隆義氏（新）も各方面から推されているので出ることになるようだ。旭町では多田梅松氏（現）と日裏庄太郎氏（現）の二人になるものとみられる。

下足寄　六部落の協定で、西農常務の斉藤祐一氏（新）を推したが本人がうけず森繁氏（新）にお鉢がまわつているが、川向の久井喜平氏（新）も立つことになるかもしれない。

足　寄　宮川孫市氏（現）のほか近藤悦朗氏（新）も出る模様だ。

中足寄　大原茂氏（現）一人ということになつた。

稲　牛　八木沼正之氏（現）に替つて佐々木政一氏（新）だけ。

ラワン　高台の斉須才一郎氏（現）が退き、上ラワンの鈴木光俊氏（新）とラワン沢の藤原善四郎氏（新）の二人が出る。

上足寄　星喜市氏（現）一人となつている。

愛　冠　足農組合長の蓑島美晴氏（現）だけ。

鷲　府　入院中の蓑島丈助氏（現）に替り大久保繁氏（新）が出ることになつたが、創価学会をバックに宮口正夫氏（新）も立つ。

塩　幌　ことしは白糸地区の開拓者側からとなつていたが、出る人がなく、中間駅問題の解決のために細野又市氏（現）が再度推されて立つ。

上利別　ことしは立起に乗気でなかつたが地区から是非にと推されて影山平氏（現）が出る。

大誉地　工藤虎男氏（現）は出る。梅森政志氏（現）に替つて上斗伏の道上太郎氏（新）が立つことになつた。

芽　登　開北の吉田吉之助氏（現）と市街からは岡武氏（現）が立起する。

喜登牛　大浦勉氏（現）と加藤甚一氏（現）の二人は出る。

茂喜登牛　開協組合長の大滝弥助氏（元）のほか開拓者連盟からは川手陸司氏（新）あたりに白羽の矢を立てているようだ。

顔ぶれの内訳は現議員十六名に対して新人十五名、元議員一名となつていて、新人が半数を占めているのは現議会に対して[illegible]の強いことを物語つているようだ。

岡崎光三という人

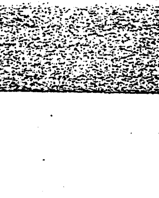
◎…政治のセの字も口にしなかつた岡崎氏が道議に立つというので、事業も成功し金も儲かつたので、あとは名誉欲と道楽で――というカゲ口をたたく向もあつたようだが、挙町一致の推薦も断りつづけてきたことと、自民党支部長の肩書をもつていた手前、足寄、本別、陸別の三町から立つものがいないということから責任上止むなく踏みきつた事情は、彼の性格を知るものはうなづける筈で、それだけにことしの足寄町は、「岡崎を落すな」という合言葉で、党派を超えたひとつのブームをつくつている。

◎…八日の告示日に足寄駅前で才一声をあげたときは五百名の町民がつめかけて〝岡崎万才〟を叫んでいたが演説をブツたことのない岡崎氏の才一声に家の子郎党は心配していたようだが、結構ハキ〳〵とものをシャベり、職業政治家らしくない素直な訴え方で人柄が滲み出たような話しぶりだつた。

◎…もと〳〵岡崎氏は手練手管の権謀術数型ではなく独力でおこした運送業にしても木材業にしても労務者の先頭に立つて身をもつてとりくむ努力型で、裸一貫でタタキあげた苦労人だけに物判りのいい事業家でとおつている。

◎…こんどは畑違いの道政ととりくむわけだが、首尾よく当選したとしても、その肩書を利用してうまいことをやろうという性格ではなく、事業は事業、政治は政治と割切つて筋をとおす側の人とみられている。

主筆の室



◎…「北海道新聞」や「北海タイムス」とは違つた役割で、身近な郷土の問題ととりくむ郷土紙としておかげさまで本紙もどうやら百三十九号を出すまでになりました。[illegible]行動範囲として、より誠実な[illegible]成長[illegible]ますようよろしく御叱正と御批判のほどをねがいます。

前回（昭和30年）三町の町議選の得票調べ

足寄町

当選	高橋安蔵	（市街）	408
〃	所啓一	（下足寄）	350
〃	斉藤昇	（市街）	339
〃	大原茂	（中足寄）	338
〃	湯津義雄	（市街）	321
〃	梅森政志	（大誉地）	314
〃	西村彦三郎	（中足寄）	309
〃	小林弘道	（市街）	305
〃	多田梅松	（市街）	295
〃	影山平	（上利別）	292
〃	細野又市	（塩幌）	292
〃	蓑島丈助	（鷲府）	291
〃	大浦勉	（喜登牛）	270
〃	加藤甚一	（〃）	267
〃	松田易治	（下足寄）	265
〃	嶺和衛	（市街）	264
〃	吉田吉之助	（芽登）	262
〃	日裏庄太郎	（市街）	260
〃	星喜市	（上足寄）	258
〃	工藤虎男	（大誉地）	250
〃	宮川孫市	（足寄）	236
〃	斉須才一郎	（ラワン）	231
〃	八木沼正之	（稲牛）	226
〃	蓑島美晴	（愛冠）	212
〃	石道政治	（市街）	210
〃	矢野寛一	（〃）	201
次点	大浦政雄	（芽登）	200
〃	大滝弥助	（芽茂喜登牛）	198
〃	近藤悦朗	（足寄）	169
〃	鈴木岩太郎	（市街）	145
〃	小林頼太郎	（〃）	138
〃	佐藤嘉[illegible]	[illegible]	68
	計		8.184

本別町

当選	前田英雄	（市街）	447
〃	天野晴清	（〃）	434
〃	羽根田守	（〃）	390
〃	松下一桜	（仙美里）	382
〃	作間勝雄	（市街）	322
〃	者木勝二	（勇足）	321
〃	生塚利一郎	（〃）	316
〃	鈴木八郎	（押帯）	315
〃	平賀昌夫	（市街）	312
〃	東条正二	（勇足）	298
〃	柳沼直美	（仙美里）	295
〃	吉田松男	（市街）	290
〃	北畑孫八	（活込）	288
〃	加藤卓	（拓農）	272
〃	太田勘助	（仙美里）	270
〃	青木久雄	（チエトイ）	265
〃	熊本軍治	（美蘭別）	255
〃	大和田清進	（美里別）	241
次点	青田義宗	（ランベ）	221
〃	大久正義	（美里別）	205
〃	杉本安市	（市街）	203
〃	増子信也	（〃）	203
〃	臼田義一	（〃）	189
〃	舟橋正成	（〃）	188
〃	高橋庄太郎	（〃）	145
〃	酒井高作	（〃）	67
	計		7.134

陸別町

当選	国安専次	（市街）	273
〃	杉田才雄	（〃）	263
〃	寺尾政一	（〃）	227
〃	尾崎亘	（〃）	222
〃	半谷好松	（上斗満）	210
〃	竹内千代蔵	（市街）	200
〃	佐藤一郎	（川向）	191
〃	毛利米次郎	（上トラリ）	181
〃	尾崎繁雄	（市街）	177
〃	近藤菊五郎	（下斗満）	174
〃	山村音吉	（作集）	159
〃	荒川光董	（市街）	150
〃	角田敏夫	（下勲弥別）	146
〃	久弥田正二郎	（市街）	145
〃	月居勇	（市街）	145
〃	渡辺好弘	（斗満）	145
〃	山本正一	（市街）	142
〃	大島弥六	（温根内）	124
〃	佐々木芳雄	（小利別）	119
〃	林新八	（川上）	117
〃	熊田良一	（東斗満）	115
〃	中根勝治	（小利別）	109
次点	間庭多嘉三	（上作集）	108
〃	久田康四郎	（小利別）	54
	計		3.897